

ふじえだ ^{イクジィ}育G 応援プロジェクト その15

地域で広げよう! 孫育ての和

核家族化や女性の社会進出、地域社会の希薄化などにより、孤立してしまう「子育て」。
 そうした中、今、期待されているのがじいじ・ばあばが持つ「祖父母力」です。
 このコーナーでは「孫育て」という視点から、皆さんに役立つ情報をお届けします。

※「育G」とは、育児に積極的な「Grandfather」「Grandmother」の略称です

育Gへ孫育て アドバイス

親族の数の減少、頼れる大人が少ない

2020年、日本の出生数は、コロナの影響もあり84万人と大きく減少。団塊世代の出生数は270万人なので、約1/3になってしまいました。少子高齢化という、年金や労働人口の減少などがよく取り上げられますが、きょうだい、親族の数の減少にもつながります。きょうだい、親族が減るとどのようなことが起こるのでしょうか。

一人っ子同士の間にも生まれた子どもには、いとこや叔父、叔母はいません。成長を喜んでくれる人や親に何かあった

ときに頼りにする人もいないのです。

この先、人間関係や社会性を学ぶ場となっていた「親族」という社会システムは、どんどん縮小していくでしょう。個人でなく社会で子どもを育てていかなければなりませんね。



イラスト:Hina

アドバイザー

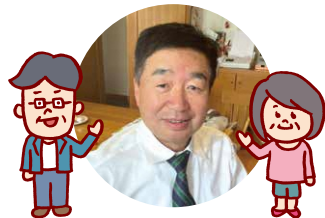
ぼうだ あきこ

NPO法人孫育て・ニッポン理事長

自身の出産後、子どもや家庭の状況にあわせて、育児雑誌や新聞等への執筆、育児サイトの立ち上げ・運営、企画会社などで活躍。2011年NPO法人孫育て・ニッポンを設立。全国各地で「孫育て講座」や行政との共同プロジェクトを行う。また、産後ケア、多世代交流を中心としたまちづくりなどの調査、研究に携わる。孫一人。

地元の育G リレーコラム

貴重な時間をもらえていることに感謝



今月の育G

山田 賢昭さん (63歳)

職業: 染色業

住所: 市内大手1丁目

孫 : 女の子(2歳)

初めて孫と対面したときはとても感動した。「カワイイ」の一言に尽きる。偶然ではあるが、自分が思っていた名前が付けられたことに運命的なものを感じる。忙しい日常生活の中でも「孫との時間を作りたい」と強く思うようになり、童心に帰る貴重な時間をもらえているし、家族団らんの中心にもなっているのでとても感謝している。親には出来ないことをしっかりとサポートして、本人がやりたいことをやらせたい。自然に出てくる夢をしっかりと応援していきたいと思っているが、最近、仏壇の前で般若心經のワンプレーズを唱え始めたのには驚いた。この子は天才だ!

自慢の孫フォト



まりかちゃん

藤枝市からの子育て情報



地域で子育てのお手伝いをしませんか?

～ファミサポ提供会員養成講座参加者募集～

子どもが好きな人、子育ての経験を生かしたい人、地域で子育てのお手伝いをするための養成講習会に参加しませんか。※申し込み方法など、詳しくは、市HPをご覧ください。

と き 1月24日(月)～28日(金)

問合せ 藤の里ファミリー・サポート・センター
 (児童課内) 電話: 054-643-6611

藤枝市
ホームページ



感想募集中



こちらのQRコードへ
 アクセスしご覧いただいた
 感想をお寄せください♪